## 丹精込めた盆栽が町役場を彩る 松原昭義さんが町へ寄贈

盆栽を愛好されている松原昭義さん（半田）が、長年丹精込めて育てた盆栽10鉢を町に寄贈しました。寄贈された盆栽は、手入れが行き届いた美しい作品で、現在、役場庁舎の玄関口や町民ロビーのほか、やすらぎ園に展示しています。癒しのひと時を過ごすことができる環境となった役場庁舎では、風格漂う静寂の美しさに足を止め、一つ一つの作品を見入る来庁者の姿も見られます。皆さんも、役場へお越しの際は、ぜひご覧ください。

▶役場庁舎に飾られた盆栽が来庁者を出迎えます

## 立ち直り支える地域を目指し啓発 第74回「社会を明るくする運動」

7月の「社会を明るくする運動」強化月間・再犯防止啓発月間に合わせて、社会を明るくする運動推進委員会および協力団体による街頭啓発活動が7月16日、桑折駅をはじめ、醸芳中学校やブイチェーン桑折店、いちい桑折店で行われました。当日は、のぼり旗を掲げながら、通勤・通学者や買い物客に啓発用ティッシュを配布し、犯罪や非行防止、立ち直りを支える地域社会をみんなで築くための呼びかけを行いました。

▶ブイチェーン桑折店での啓発活動の様子

## 地域で学ぶ働く現場 中学生職場体験

醸芳中学校2年生の職場体験が7月8日から10日までの3日間にわたり、町内各所で行われました。町役場には4人の生徒が訪れ、行政の仕事を体験。給食センターでは、給食で提供される小魚の佃煮の仕分け作業や食材の放射能濃度測定を行いました。生徒らは「生まれる前に起きた原発事故の影響が今もなお続いているとは知らなかった」と測定の様子を真剣に記録する姿がありました。健康福祉課では、乳幼児健診の補助として、各健診ブースへの誘導や待合室で一生懸命に子どもをあやすなど、生徒らは、職場体験を通して働くことへの理解を深めました。

1_給食センターの調理室で働くスタッフを見学し、給食のありがたみを実感　2_健診前の子どもを和ませる生徒のみなさん





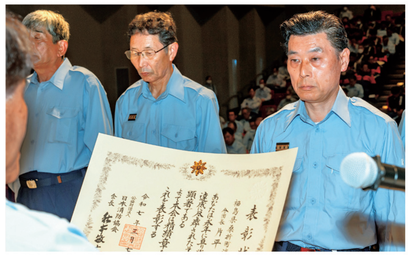
## こおりプレミアム商品券（電子版） PayPay操作説明会

電子版こおりプレミアム商品券（第6弾）の申込受付が始まり、あわせてPayPay操作説明会も7月から行われています。説明会では、PayPay社員が町民一人一人に対し、操作の疑問点などについて答え、参加者は一緒にスマートフォンの画面を確認しながらアプリの取得や商品券の申し込みなどを行いました。説明会は、8月18日月、19日火、9月4日木、5日金にも行います。初めて電子版商品券を申し込む人や操作に不安がある人は、ぜひご参加ください。商品券や説明会の詳細は、町ホームページをご確認ください。

▲PayPay社員サポートのもと、操作方法などについて一つ一つ確認する参加者のみなさん

## 消防人の規範として表彰 県消防協会伊達支部幹部大会

第76回福島県消防協会伊達支部幹部大会が6月15日、伊達市ふるさと会館で行われ、消防関係者・団体など約400人が参加しました。大会では、消防活動に貢献した団員に対する各種表彰が行われ、町消防団からは片平一夫分団長が日本消防協会定例表彰「精績章」を受章するなど、40人が各種表彰を受章しました。団員らは、町民の信頼に応えられるよう、今後も新たな消防の知識と技術の習得に努めていくと、決意を新たにしました。


▶日本消防協会定例表彰精績章を受章した片平分団長（右）

## 本格的な出水期を迎える前に 町消防団が県水防訓練に参加

県水防訓練が6月1日、伊達市梁川町の東根川遊水地で行われ、町消防団第2・3分団の団員ら25人が参加しました。訓練では、堤防が崩れ始めたときに、水の染み込み口をシートなどで覆い、土が水を含んで決壊するのを防ぐための「シート張り工」という作業を実践するなど、水防活動に必要な知識と水防作業の技術について学びました。団員らは、本格的な出水期を前に、水防技術の確認やさらなる意識向上に努めました。

▶「シート張り工」作業を行う団員のみなさん